

2022. 10. 3

# Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動

- 植物モニタリング活動 10/10、10/17、11/7、11/14 9:00 ため池公園スタート
- 赤塚公園ニリンソウを守る会 10月例会=10/9 10:00 大門観察台  
★いずれも、飛び入り参加歓迎! 雨天は小雨でも中止
- 赤塚公園どんぐりまつり 10/23 10:00~15:00 中央地区サービスセンター前  
<問合せ: 赤塚公園サービスセンター03-3938-5715>

気が付けばもう10月、まだ蒸し暑い日がやってくると思うのですが、季節はすっかり秋になりました。9/19のモニタリングは雨で流れたので、10/3は3週間ぶりの観察活動。草も木も実がたくさん付いていました。

そこで、いきなりクイズです。

## これは何の実?



ヒント: ①熟すると赤色、②これは珍しい。赤塚公園でも数株しかない樹木の実。③マメ科ですがインゲン豆ではありません。花は黄色。

④葉を日に透かして葉脈が見えたらトウネズミモチ。これは見えませんでした。⑤この少し大型なのはムラサキシキブ。⑥枝が中空になっている木で花は白。抒情歌「夏は来ぬ」で歌われている花。



<答>写真の6種を以下の7種と合わせてください。1種余ります。結局、自分で考えるということ・・・。  
a) ササラウツギ、b) ノササゲ、c) ネズミモチ、d) アオキ、e) サワフタギ、f) コムラサキ、g) ヤブガラシ

# 久しぶりの涼しい日でした



10/3のモニタリングは久しぶりの活動だったことと、ようやく涼しい日がやってきたこともあってか、11名の参加者、みなさんのんびりと楽しく秋の風情を味わっていらっしやいました。写真を撮るのもこた

わりがあって、右上の方はムラサキカタバミの花を正面からとらえるのに、じっくりと何枚も撮影しています。わたしが撮ると、右下の写真のように斜め上から花を見下すような写真。きっと、彼の方がうまく撮れていると思います。

# 悲しいことにも遭遇しました



赤塚公園広といえどもここにしか生えていない植物というのがあちこちにあり、どうしても残してほしい植物には「刈らないでください」の「お願い札」を付けています。八丁目の林のフェンスに



絡んで伸びていたアオツツラフジもその一つです。ところが、9/5にはフェンスからはみ出して生えているつるが切り取られていました。そこで、「お願い札」を張り直したのですが、10/3には残ったつるも根元から切られて葉は枯れていました（右写真の白く見えるのが枯れた葉）。おまけに「お願い札」も取り外されてました。

植栽された樹木や草花以外の植物を全部「雑草」として扱い排除の対象とすべきであるという考えが

広くいきわたっていることも承知しているし、保護活動を行っているボランティアには法的権限がないので、他人様にどうしろという立場でもないのですが、野草も生き物、もう少し優しく扱えないものでしょうか・・・。

一方、大門地区の西端の草地で草刈り後に出てきた**ツルボ**。花は枯れていましたが、「お願い札」と赤いリボンのマーキングはまだ残っていました。



<エポック>  
ムカゴイラクサは頭頂に雄花を付けますが、これはなんだ？ 小さな葉のように見えます。